

ホタテガイ養殖管理情報

稚貝のサイズは小さめですが、早めの分散作業を

1 海況

9月26日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の**日平均水温は23℃以下になっています**（図1）。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝の状況について

9月18～26日に湾内11地点で中段1段の**未分散稚貝**の成育状況を調査しました。

7月下旬～8月上旬に採取した稚貝（表1）の平均殻長は西湾で17.7mm、東湾で17.9mmと平成12～30年の高水温年を除く平均値（平年値）それぞれ21.3mm、19.2mmより小さいサイズとなっています。また、へい死率は西湾で7.6%、東湾で5.4%と平年値それぞれ3.2%、5.1%より高い値となっています。

8月中旬以降に採取した稚貝（表2）の平均殻長は16.3mm、へい死率は29.2%と7月下旬～8月上旬に採取した稚貝より殻長が小さく、へい死率も高い値となっています。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 現在の水温は、**稚貝が成長する23℃以下**になっています。
なお、1段当りの収容枚数が200～300枚台と多い地点が見られます。
- **分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながる**ので、**早めに作業を開始**してください。
- **収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせる**ようにしましょう。
- 1段当りの**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数（1段当り10～20枚）**を心がけて作業してください。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょ**う。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょ
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせずぎないように**しましょう。

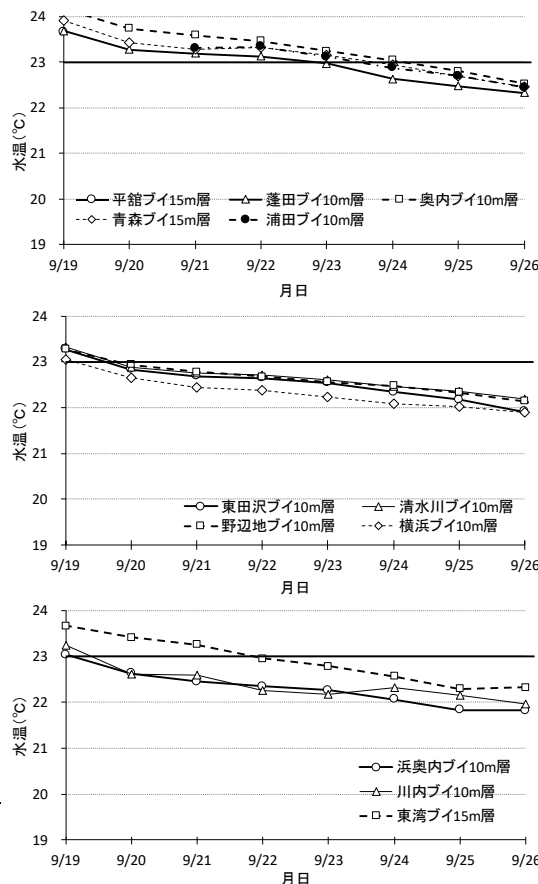


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

表1 7月下旬～8月上旬に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深 (m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数 (枚)	死貝数 (枚)※	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	平均殻長 (mm)
A	9月26日	30	8月1日	2.0	2.0	鉛75匁	114	12	9.5	3.0	19.7
B	9月25日	20	8月4日	2.2	2.0	鉛100匁	150	21	12.3	0.0	18.7
C	9月18日	27	7月22日	1.5	1.5	太枠1段	372	22	5.6	0.0	15.1
D	9月26日	30	7月28日	1.5	2.0	太枠1段	249	26	9.5	0.0	15.7
久栗坂実験漁場	9月18日	30	7月28日	1.8	2.0	コンクリート2kg	78	1	1.3	2.6	19.4
西湾平均							193	16	7.6	1.1	17.7
E	9月21日	8	7月28日	2.0	2.0	鉛50g	195	14	6.7	0.0	18.8
F	9月25日	15	8月4日	2.0	2.0	鉛50g	246	13	5.0	0.0	18.2
G	9月21日	15	7月26日	1.7	1.5	鉛100匁	181	9	4.7	0.0	15.8
川内実験漁場	9月18日	20	8月2日	2.3	2.0	コンクリート2kg	130	7	5.1	0.0	18.9
東湾平均							188	11	5.4	0.0	17.9

表2 8月中旬以降に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深 (m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数 (枚)	死貝数 (枚)※	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	平均殻長 (mm)
A	9月25日	15	8月25日	2.5	2.0	鉛50匁	93	63	40.4	0.0	15.8
B	9月26日	30	8月19日	2.2	2.0	太枠1段	145	32	18.1	0.0	16.8
西湾平均							119	48	29.2	0.0	16.3

※成長後の死貝数

※成長後の死貝数



①



②